

【あなたの気持ちでつながる国際交流の輪】

私たちは八幡高校夢現プロジェクト8A班です。

私たちは、ゴール番号8「働きがいも経済成長も」について探究してきました。その中でも、外国人労働者に着目し、「外国人の方々が安心・安全に働くことができる環境をつくる」という目標をたてました。

様々なインタビュー調査を通し、外国人の方々が安心・安全に働くことができる環境をつくるには、「外国人と日本人が積極的なコミュニケーションをとり良い関係を築くこと」と「外国人の方々が抱える問題について知ること」が重要であると考え、以下の2つのアクションプランを行いました。

① 国際交流イベントの開催

インタビューに協力していただいた専門学校大原自動車工科大学校と共同で、国際交流イベント「八高国際交流ツアー」を開催しました。イベント当日は専門学校の留学生20人と八高生17人が参加し、言語の壁を越えて交流を楽しむ様子が印象的でした。

また、イベント終了後のアンケートでは、「言葉が通じなくても、表情を変化させたり、ジェスチャーを使ったりして、あきらめずに伝えようとするのが大切だと分かった」という声がありました。これらを通して、あきらめずに伝えようとしたり、理解しようとしたりすることの大切さを学ぶことができました。



② 啓発ポスターの制作

啓発ポスターを制作し校内に掲示しました。また、活動に協力していただいた専門学校や JICA 九州のホームページに掲載させていただきました。

<JICA九州ホームページURL>

<https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2022/h2nf2c00000012qz.html>

ポスター掲示後に八幡高校の1年生を対象にアンケートを行いました。アンケートでは、「ポスターの内容を理解できた」と答えた人が100%を占め、多くの人に外国人の方々が抱える問題とその解決策、外国人の方々とコミュニケーションをとるコツを知ってもらうことができました。

活動を通して、初めて知ることが多く、また、考え方が大きく変わるような経験もたくさんありました。私たちが学んだことや経験したことをより多くの人に伝え、外国人の方々がより安心・安全に働くことができるようにこれからも活動を続けていきたいです。

あなたは外国人が抱えている悩みを知っていますか？

1. 入国管理手続きのこと	2. 悪い労働環境	3. いじめ
---------------	-----------	--------

あなたも誰かにとっての心のよりどころとなる

これを解決するために…
コミュニケーションが重要！

コミュニケーションをうまくとるコツ

- ① やさしい日本語を使う
「昼食持参」
⇒ 「お昼ご飯を持ってくる」
- ② 理解しようとする姿勢を持つ

八幡高校 夢現プロジェクト 8A班